

廿日市市立大野東中学校（平成18年度・第2年次）中間報告書

1 推進校及び推進地域の概要等

学校名	所在地	電話番号	備考
はつかいちしりつおおのひがしちゅうがっこう 廿日市市立大野東中学校	広島県廿日市市 大野414番地	0829-56-2177	

2 研究課題 生徒の実態や体験活動に根ざした生命尊重の心をはぐくむ学習の創造
－保護者や地域の人々の教育力を活用して－

3 第2年次の研究計画の概要

1年目は、(i)生徒理解としての道徳教育 (ii)道徳の時間の充実 (iii)学校や学級内での人間関係づくり (iv)体験活動の充実 (v)生徒自らに取り組む環境作り (vi)保護者や地域の人々の積極的な参加や協力の促進、以上6点を中心に生命尊重の心をはぐくむための人的「環境」作りを中心に研究を進めてきた。そして、年度末に成果と課題を分析した結果、(iii)(iv)に課題があることがわかった。そこで、2年次に向けて研究構想図の再検討を行っていくことにした。

この研究構想図の特色の1つは、本校の指導助言者である小寺正一京都教育大学名誉教授から「文部科学省の柴原弘志調査官は、生命について6つの多面的観点による理解を提唱されているので、その観点を研究構想図に取り入れてはどうだろうか」という助言をいただいて6観点を取り入れたことである。

特色の2つ目は、「生命尊重の心をはぐくむ」ために道徳の時間、特別活動、総合的な学習の時間の3つの柱を関連づけて、それぞれの柱を研究部、生徒指導部・保健部、教務部が推進していくことにしたことである。

特色の3つ目は、定期的にPlan→Do→Check→Actionのマネジメントサイクルを取り入れ、研究内容の修正を図ろうとしていることである。

4 道徳の時間について

3つの柱を束ねていくことになる「道徳の時間」については5つの課題を設定した。

(1) TTの活用

授業のねらいや学習指導過程の工夫に対する効果的なTTの活用についての研究を進めている。

(2) 保護者・地域の人々の参加と協力

上記の(1)と関連づけ、TTあるいはGTとして保護者や地域の方を授業に招聘したり、学校の道徳的雰囲気醸し出すための取り組みへの参加を求めている。

(3) 魅力的な教材の開発

生命尊重と他の内容項目との関連を考えながら、生命の尊さや死の問題、人間としてより良く生きることの意味を深く考えていくことができる魅力的な教材の開発を生徒の実態を踏まえながら行っている。

(4) 総合単元的な道徳学習の実施

各学年の中心となる行事（文化祭・修学旅行・福祉施設訪問）などを核として計画している。

(5) 道徳系の活動

昨年までの活動をさらに発展させている。（例えば地域アンケート調査の結果の中で、地域の人々の東中生徒への評価を道徳コーナーに掲示して改善すべき点は改めるよう呼びかけている。）

